

「サンゴの村宣言」プロジェクト ～世界一サンゴにやさしい村～⑧

サンゴ保全環境学習

4月28日、恩納村赤土等流出防止対策地域協議会が村観光協会、有限会社ナビィ、NPO 法人沖縄グリーンネットワークと協力し、JTB 沖縄労働組合の15名と共にサンゴ保全環境学習を行いました。

宇加地公民館において赤土流出防止講座、農地では排水溝の土砂上げやグリーンベルトの植栽、恩納漁港沖でサンゴの植え付けを行いました。

今回の体験学習は、農業・観光・環境保全がリンクした取り組みとして「サンゴの村宣言」に向けた一つの観光プログラムの構築を図ったもので、村観光協会との連携強化へとつながりました。

村赤土等流出防止対策地域協議会では、畑における様々な赤土流出対策を実施しています。対策を希望される農家又は興味がある方は下記までお問い合わせください



お問い合わせ：村赤土等流出防止対策地域協議会事務局（農林水産課）
☎966-1202（当真・桐野）



第35回
うなまつり

日にち 7月21日(土) 22日(日)
場所 コミュニティ広場



名前：Sunnaちゃん

大人気のさかなつかみ取りや牛汁販売のほか、ライブやエイサーでまつりを盛り上げます。また、「サンゴの村」を宣言し、恩納村の新しいキャラクターを皆さんにお披露目します。

1月に長野県川上

村からやってきたレタ助

は、こんなに大きく
なりました。
毎日元気に走り回っています。



恩納100 むらのきおく その九十二



トゥックイ（徳利）

お酒の入る容器として各家庭では徳利等が使用されていました。沖縄の壺屋で焼かれた上薬を塗らずに焼くアラヤチ（荒焼）と呼ばれる陶器を用いていました。アラヤチにもいろんな形の種類があり、酒器として使用されたのは丸っこい形のものや長細い瓶状の形状もありました。お酒の容量によってチュウカサー（一升入れ）、タワカサー（二升入れ）などと呼んだそうです。